

夜間学校☆金ヶ崎越冬21回

2/19

今夜ア時より、「喜望の家」一階にて テーマ「越冬と病気の3」

資本の使いすぎを許すな

11回金ヶ崎越冬斗争も一月
未で終り、医療センター前の布
田敷きや、夜間医療パトロール
が終りました。今年も、例年に
比べて、青カニ者・が幾分少な
かったものの、一方では昨年の
二倍近くの方が越冬実の出す医
療券によって医療センターで診
察・治療を受けました。これは、
越冬斗争と、この医療券が知ら

れてきたということと同時に、知
られていけばいくほど医療券を必
要とし、頼りに思っている人が多
くいるということが言えるでしょう。
実際、仕事の少なくなる冬場に
病気にでもなれば、それこそ金は
なし、当然日雇健保の資格もなし
で、医療券をマテにするしかない
のが現実だといっていいでしょう。
そこで、越冬実医療班は、二月末

(夜称)金ヶ崎
夜間学校とは……
我々が金ヶ崎で、あるいは
日雇労働者として生活してい
る中で、誰でもがいつかは必
らずぶつかると、一人の問題で
あると同時に皆の問題でもある

る、仕事や病気の問題を皆で解
決していくために、先生と生徒の
関係ではなく、皆が生徒で先生で
もあるという対等な関係の中で、
互いの知識と経験を通して考え、学び合
う自由な場です。
是非多くの仲間が参加して下さい。

までの、月木金の週三回、医療券
を出し続けています。
また、今回の越冬斗争では70人
がどこかの病院へ入院できました
が、何とそのうちの四六%が結核
でした。全国的には結核患者が減
少し、ベッド数もへらしている
というのに、金ヶ崎の、そして日雇
労働者の現実は何を物語っている
のでしょうか。
今は元気で働いている仲間の
みなさん、ケガをしたらどうし
ますか。病気で働けなくなると
らどうしますか。その時に受け
なんとかするでは遅すぎるし、損
をすることもしばしばあります。
さらには、病気がワガにならな
いように気をつけなければいいと考える
人もあると思いますが、気をつけ
ていても病気になるのが日雇労働
者の現状であり、それが日雇労働
者に対する資本の使いすぎ攻撃で
もあるのです。そこで、では、我
々は一体どうすればいいのかわ
か、今こそ、みんなとともに考えよう
ではありませんか。

(仮称)釜ヶ崎夜向学校ニュース 第20回報告テーマ「釜ヶ崎の歴史」

中身を変えていくことが大切や!!

名前もそれで変わっていく

私は釜の人名と堂々と
言える人が何人いるか!

最初にスライドを通して、釜ヶ崎の歴史を簡単にふり返って見た後で皆で討論をした。

今回話の中心になったのは「釜ヶ崎」という呼び方。

ある人から「釜の名前を強調しすぎる」といけない」という発言があった。その理由は「釜」の名前は

「労務者」と同じく悪名高く使われるので、むしろ自身がそれを使うのは自分を卑下することになる

ということだった。

それに対して、他の人は「気にしない」と別にして「いややね」と様々だったが、釜ヶ崎から来るイメージについては、他人に嫌な顔をされるよりも、明るいイメージでは

ないほうがいい気がする」と外に出たら、西成」ということで、確

に良くは思われていないようだ。

「よしは釜から来たアニコヤ」という。それに対して現場監督は「人夫を何人使うてる」とよくいう。

又、この頃の新聞何かでは、悪い事をしたら「労務者」と書き、その他の時は建設労働者、建設作業員という使い方をよくする。

「知らない程悪いイメージを持つ」

「いなかに戻った時、姉から『ここに住んでいるか』と聞かれ、『西成や』というのと、『わ、そんな』と言われた。この事をみても、いかにマスコミなどによって作られたものかわかる。

「西成」でも偏見を持つ人が多い。しかし、もともと大阪は大きく分けると東成郡と西成郡しかなかった。行政は4年、「あいりん地区」と名

前を変えたが、かんじんの中身が変わらない限り同じこと。結局のところ、小力かにしているにすぎない。

最初に、釜ヶ崎でも気にしないと言った人はその理由を次のように言った。

「もしらは別に悪いことも恥かしい事もしたらん、自分で働いてちやんと生活しとるんやからし。

「みんながつくるみんなのひろば」

「(仮称)釜ヶ崎夜向学校」

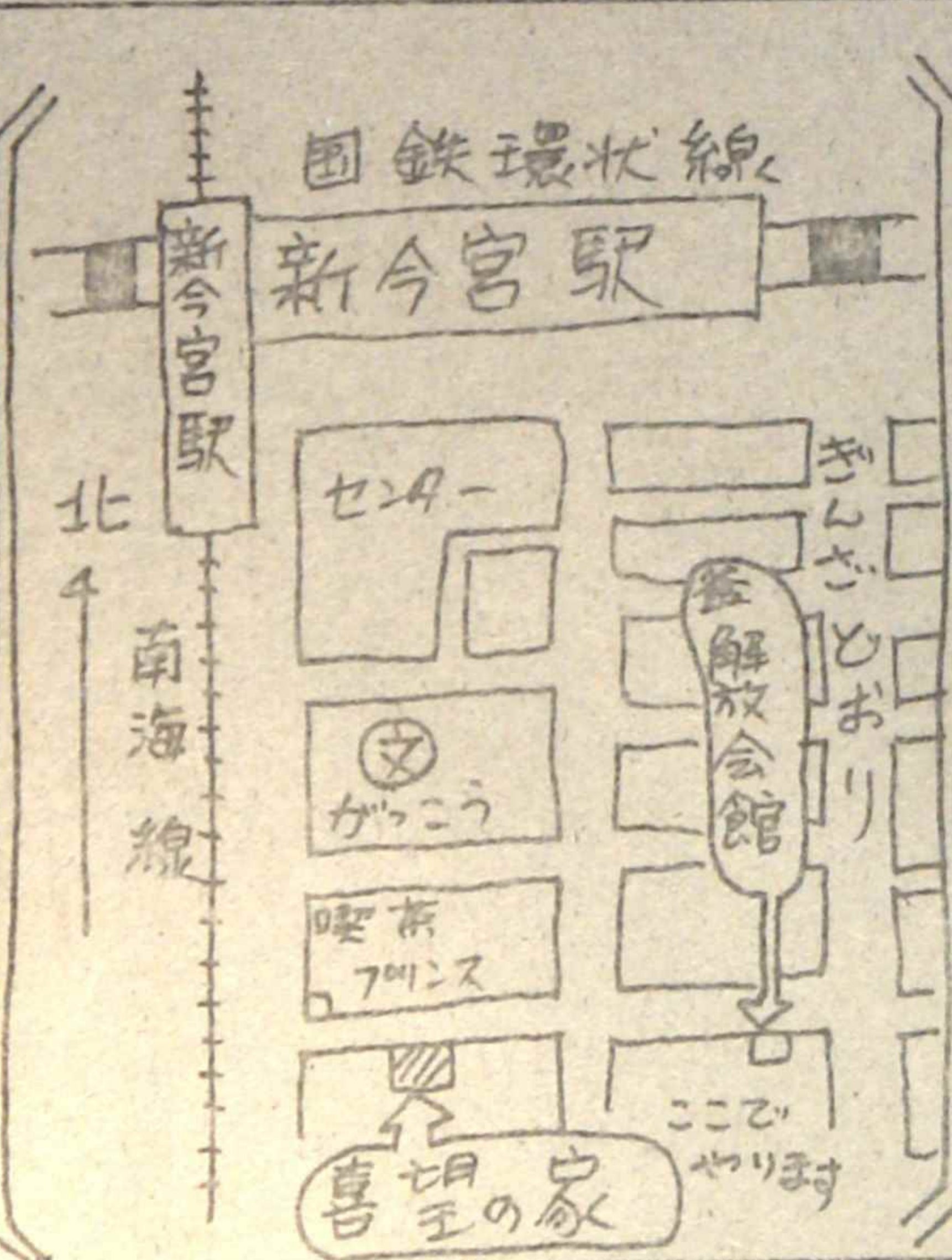
運営委員会準備会

西成区萩の茶屋二一八一

釜ヶ崎、喜望の家内

電話 06-6471-3946

毎週木曜日夜七時〜九時の旨に



「(仮称)釜ヶ崎夜向学校」
 運営委員会準備会
 西成区萩の茶屋二一八一
 釜ヶ崎、喜望の家内
 電話 06-6471-3946
 毎週木曜日夜七時〜九時の旨に